

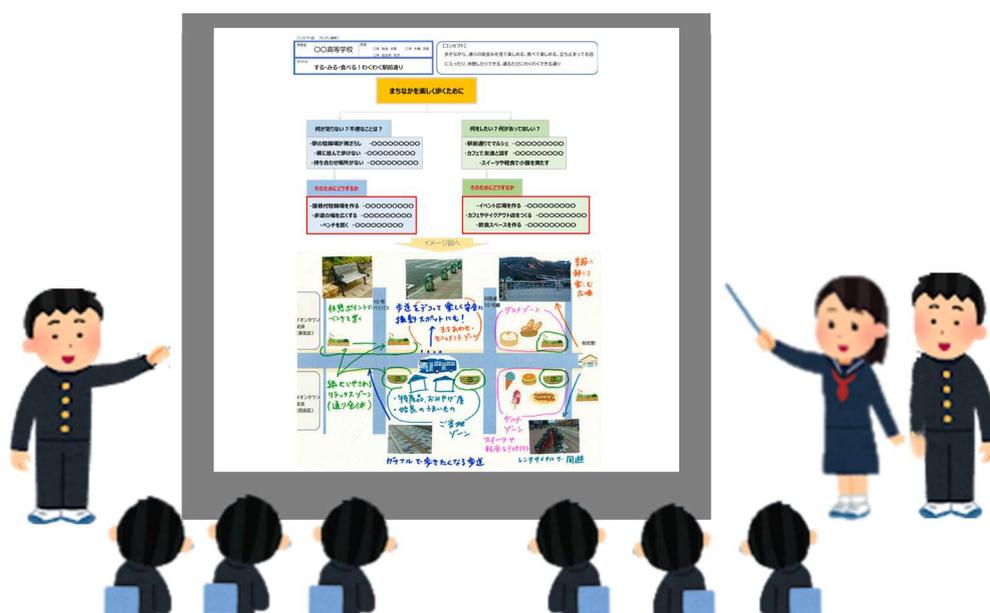
令和7年度

若者と始良市長の未来創造タウンミーティング

あいら若者まちづくり会議

テーマ: Aira まちなか ウォーカブル
～帖佐駅とAEONを結ぶ理想の800m～

あいら若者まちづくり会議では、各校の参加者が事前に作成した資料に基づき、プレゼンテーション方式で発表した提案内容について、市長との意見交換を行いました。



参加校	第1回(8月2日開催)	第2回(9月20日開催)
加治木高等学校	つながるストリート、ひろがる未来	キラキラ ライトアップ ストリート
龍桜高等学校	パクパク 8989 楽しいおいしい 800m	のんびり計画
加治木工業高等学校	「住」で始良の魅力を集める 『ビーチ・キャンプ・木材』	「住」で始良の魅力を集める 『陶芸・伝統・自転車』
蒲生高等学校	AKK ふれあいの街 ～理想の800mにするために～	Aira kajiki kamou ふれあいの街
鹿児島工業高等専門学校	なんでもない日が、ちょっとだけ 特別になる道	自然を生かした癒し空間

【第1回】令和7年8月2日 開催

加治木高等学校『つながるストリート、ひろがる未来』

- ・現在の駐輪場を整理して、立体駐車場は無理かもしれませんが、渋滞や混雑が起きないようにしっかり駐車場を整備すれば、歩行者に対する危険も減らせるのではないかと思います。
- ・街路樹やベンチを設置したり、魚が泳ぐ水路を作り、流れる水の音が涼しく感じられる道にすれば、季節を感じられる自然を取り入れた、いい場所になると思います。
- ・飲物を買えたり、一息つけるような公園があると、高齢者の方が歩く途中に休憩できる場所にもなると思います。
- ・緊急時に避難場所としても利用可能な駅前広場を整備すると、景観も良くなるのではないかと思います。また、この広場でお弁当店などを設置することで、通勤・通学前にも利用できるようになると思います。



帖佐駅からイオンタウン始良までの約 800mの道、通称「帖佐駅前通り」について、無電柱化や歩道を広くするための計画を立てています。

イオンという大きな商業施設に向かう 800mを、暑い中、皆さんのような高校生、そして中学生が帖佐駅から歩いていく中で、楽しく、そして言われたように自然もある環境があればいいと考え、この帖佐駅前を本当に歩きたくなる道にしたいと思い、改修を予定しているところです。

今後、道が広くなり、歩道を確保し、そして、駅前広場も作ります。その中に駐車場、そして駐輪場、またお迎えの方のお車をどう並べるかというようなこともしっかりと考えていきます。提案していただいた立体駐車場については、なかなか考えつかないアイデアでしたが、そのような手段もあるのだなと思ったところでした。



湯元市長

バクバク
龍桜高等学校 『8989 楽しいおいしい 800m』

- ・電動キックボードを帖佐駅に設置し、始良イオンまで使えるようにしたいと思います。
- ・歩道全体にシェルターをつければ日射病防止や雨宿りに加え、火山灰被り防止ができると思います。
- ・駅待合室で電車を待っている人が多く見られるため、クーラー等過ごしやすい環境づくりが大切だと思います。
- ・駅前広場にキッチンカー、レトロ自販機を設置し、食べ歩きをしたり、友達と集まれる場所にしたいと思います。
- ・市内の高校生が集まって季節やイベントを感じられるイルミネーションの設置をしたいと思います。
- ・駅近くにコンビニ、娯楽施設を設置すれば、始良市で遊ぶ学生が増えると思います。



「最大の目的はイオンタウンに行くことだけれど、その歩いている間にもおいしいお店等があって楽しいよ」というような通りがいいなと思います。

そこに、様々な高校生に人気のお店を置くというのは一つの大きな戦略だと思います。来ていただくお店側の都合もありますし、誘致となれば市役所全体で取り組んでいくことになると思いますが、高校生が好きなお店というのが非常によくわかりました。

それと、駅舎の待合室に冷房がないので、過ごしやすい環境づくりが大切というのは、本当にその通りで、高校生のみならず高齢者の方々も大変な思いをされていると思います。皆さんが過ごしやすい駅、そして集まれるような駅にしたいなと思っていますので、駅舎の改修についても、今 JR の方と話を進めているところです。

また、キックボードは、範囲を限定して使うのはいいなと思いました。

キックボードやレンタサイクルを置いても、結局戻らずになくなってしまふのが非常に大きな問題なのですが、そこで、直線の範囲だけで使うという、そして、借りた人をはっきりと認識していくことは非常にいいアイデアだなと思っています。



湯元市長

加治木工業高等学校 『「住」で始良の魅力を集める「ビーチ・キャンプ・木材」』

- ・住むことをベースに始良市の魅力を 800 メートルの通りに集め、1 万メートル先の魅力に足を運びたくなるまちづくりを提案します。
- ・ウッドデッキや移動式パーゴラを設置して、市内産木材の良さを感じる魅力的な空間を作り、市街地にいながら周りの地域全体の魅力まで伝えられる空間にしたいです。
- ・家とキャンプ場の展示場を組み合わせたオートキャンプの家を作って、お試してキャンプをするなど、気軽に利用することで、始良市の中心からキャンプの魅力を発信できるようになると思います。
- ・海の良さやビーチ文化を発信できる場所を作って、始良市の魅力である自然豊かな環境を知ってもらいたいと思います。



湯元市長

「駅前の通りや広場は商店街であるべき」という考えを完璧に覆してくれて、このようなアイデアは素晴らしいと思います。いわゆる、この通りを使って始良市の魅力を発信していこうという考えだと思うんですが、目からウロコが落ちる思いで聞いてました。非常に考える方向性を与えてもらったという感じがいたします。



石田尾教授

この街に住んで良かったなと思っている人はたくさんいると思います。その中で、街の魅力というものの情報発信を常に行っていくにはどうすればいいか、ということについて提案していただいたと思います。

若い世代の皆さんから具体的な提案をしていただくことで、長く住んでおられる市民の皆さんにとっても、私たちのまちにはこういう魅力がまだ残ってるんだというような思いに繋がっていただけたいのかなと思っております。

そのためにはどうするかということですが、持続可能という視点から言うと、重富や住吉池のキャンプ場など、そこに行かなければ体験できないような地域の遺産、財産は、その入口の情報を提供することによってそこへ誘導していけるという、駅前に行くとき常に何か情報が得られるという過程がすごく大事だと思ってお聞きしました。

蒲生高等学校 『AKK ふれあいの街～理想の 800mにするために～』

・高校生が主体となって実行委員会を設置し、月に1回のイベントを開催することで、若者たちの意欲を引き出す場を提供し、地域のつながりを強化できると思います。

・小規模でも、家族連れが訪れ、楽しむことができるような遊園地を作ることができれば地域の新たな魅力になると思います。

・帖佐駅前通りを月に1度歩行者天国にしてキッチンカーを呼ぶことで、地域の活気を取り戻せると思います。

・全天候型の観覧車やアーケードを設置することで、天候に左右されずに楽しむことができるようになり、ショッピングやイベントの開催がいつでも可能になります。



始良市の現状を一つ一つ押さえた丁寧なプレゼンテーションだったと思います。駅前に観覧車を設置しているまちは、鹿児島市のアミュ広場や名古屋市など、いくつかありますね。観覧車の設置については、現実と比較しながら進める必要があると思います。

高校生の皆さんが駅前でイベントができる常設のスペースがあると面白いなと思いました。このような発想が駅前で展開されるというのが一つのオリジナルなものになりそうだと思います。高校生のパワーを活かせるような帖佐駅というようなキーワードもあるのではないかと思います。



湯元市長

貸出自転車の整備については、環境への配慮という視点からの提案でもあったかと思いますが、こういった環境に配慮する議論も自転車に限らず、これからは進んでくると思います。



石田尾教授

鹿児島工業高等専門学校 『なんでもない日が、ちょっとだけ特別になる道』

- ・通りに名前をつけると人々の印象に残り、親しみやすさが向上すると思います。
- ・車道や歩道をタイル貼りにしたり、街路樹や街灯、ベンチを設置し、お店の外見を統一化することで、安心して気持ちよく歩ける道になると思います。
- ・コンビニ、自習室、避難所、ロータリー、複合施設を設置し、利用者を増やしてまちの玄関口である駅を賑やかにすることで、地域の経済交流を活性化できると思います。
- ・思い出を作れる場所、人と関わり合える場所、まちの伝統とつながりをもつ場所にするために、子ども向けのワークショップや季節行事(夏祭り)の開催、イルミネーションの設置を考えました。
- ・カラオケ・漫画喫茶、キッチンカーを設置し、通勤・通学の若者が立ち寄れる場所にしたいと思います。



湯元市長

通りに名前をつけることは通りの活性化への一番のきっかけになるのではないかと考えていて、名前はぜひつけるべきだと思います。

高校生が来てくれるようなお店も提案してくれましたが、高校生が駅前を楽しく歩いてくれると通りが活性化して、色々なお店も来てくれると思います。



石田尾教授

駅舎を出て最初に何を感じられるかということがポイントかと思っています。

先ほど提案してくれたように、まちと人をつなぐ玄関口で、地域とのつながりや一体感を感じられるというのは大切な事ではないかと思いました。

通りのネーミングは、今の若い人が名前を短縮してつけたりするのを見かけますが、若い人に通りの名前をつけてもらえると流行るのではないかと思います。

【第2回】令和7年9月20日 開催

加治木高等学校『キラキラ ライトアップ ストリート』

- ・帖佐駅からイオンまでの距離を自転車で移動できるよう、レンタサイクルの設置を提案します。また、無料バスの展開を提案します。
- ・カフェの設置や、街灯やイルミネーション、椅子を設置することで華やかなストリートを実現できると思います。
- ・イオンから帖佐駅までの配達サービスを提案します。このサービスを利用することで、高齢者の方が気軽に駅まで行くことができるようになると思います。
- ・駅に電光掲示板を設置し、公開中の映画の主題歌や宣伝を流すことで、イオンを盛り上げて、より賑わいのある通りになるのではないかと考えます。
- ・月1回のマルシェを開いて歩行者天国にすることで、昔から住んでいる周りの人の協力ももらいながら盛り上げられると思います。



この帖佐駅からイオンまでの通りは、街灯をつけ歩道を整備し、近隣の住民の方に協力してもらって道を広くし、また、防災の観点から電柱を地下に埋める計画を立てています。

さらに、駅前広場ができ、駐輪場、そしてタクシーやバスの車寄せなども整備する予定ですので、今後通りの雰囲気が変わってくると思います。

駅を利用する人達は、18歳までの免許を取る前の学生さんと、免許返納して公共交通機関を使っている高齢者の方々、そしてそのご家族の方々を中心になるだろうと思いますが、加治木高校の皆さんの提案は、駅を利用する中心の方々へ視点を向けた提案ではないかと思っています。

無料バスの展開や駅までの配達サービスも、イオンさんと協力についての話し合いが必要かと思いますが、駅を利用することを考えると、いいアイデアだと思います。



湯元市長

龍桜高等学校『のんびり計画』

- ・日々忙しい毎日を過ごすすべての人が、少しでものんびりしてリラックスできる場所を作りたいという思いを込めました。
- ・歩道に街灯やフットライトを設置して安全性を高め、休憩スペースのある施設や広場を作り、安心して快適に過ごせる空間を作りたいと思います。
- ・休憩施設を設置し、1階は学生から高齢者の方を中心としたスペースとして、2階は子どもやその家族の方を中心としたスペースを設けたいと考えています。
- ・売店や学生が利用しやすく集まりやすいお店を設置し、ゆっくり休憩できるようにしたいと思います。
- ・高齢者の方も休みやすく、コミュニティスペースとして活用してもらいたいです。高齢の利用者が増えることで、介護予防にもなり、高齢者が慣れた地域で過ごすことのできる街になると考えています。



湯元市長

多くの方は、移動するために必要に迫られて駅を利用することが多いかと思いますが、その中で、ゆっくりできる駅というのは、非常に大事なコンセプトだと思いました。

そして、始良市に住む人々と始良市で働く、学ぶ人たちが駅を利用するという目標も必要だと思っていますが、わざわざ鹿児島市、霧島市から来る人達が「何か楽しそう」と思って帖佐駅に立ち寄ってくれるというのも求めているところです。今発表していただいた提案は、色々な方が帖佐駅で楽しめる素晴らしいアイデアだと思いました。



石田尾教授

若い人達が求める快適性や、高齢者がゆっくり休憩できる場についての提案でしたが、駅を利用する通学生や家族連れ、高齢者の世代間交流を狙った素晴らしい提案ではないかと思いました。

鹿児島工業高等専門学校『自然を生かした癒し空間』

- ・全体的に緑を増やすことによって自然を取り入れ、カフェなどのリラックスできる施設を作って賑わいを出し、地域の人々の憩いの場にすることを提案します。
- ・公園にハンモックを作ってリラックスできる空間にしたり、子ども食堂や託児所を作り、子どもが過ごしやすい空間にしたいと思います。
- ・公園の周りの人目につく所にリヤカー屋台を設置して、遊んでいる子どもを見守りながら気軽に利用できるようにしたいと思います。
- ・駅の近くに足湯を設置して、ゆっくり過ごせるようにしたいと思います。



こういう駅前だったら、降りた瞬間にワクワクすると思います。足湯を設置するというような、これまでなかったアイデアを取り入れることも必要なのかなと思いました。リヤカー屋台についても、子ども達の目線で理解できる、面白いアイデアだと思いました。

託児所のアイデアを提案してくれましたが、先進事例として、千葉県流山市は子育て世代がたくさん住んでいて人口増加傾向にある市で、保護者が駅前の託児所に子どもを連れていくと、そこから託児所のバスでそれぞれの子供が通う保育所まで連れて行ってくれるという取組があります。始良市と流山市はまちの規模も違いますが、そのような先進事例に近づけるような発想を皆さんがしてくれるのは嬉しいことだと思います。

皆さんの発想の中で、休憩できる場所、そして、小腹が空いたら食べられるような場所が求められているのかなと思いましたし、そういう駅前であれば、高校生の皆さんにとって帖佐駅の特徴が出せるのかなと思いました。



湯元市長

加治木工業高等学校 『「住」で始良の魅力を集める「陶芸・伝統・自転車」』

- ・一過性のイベントではなく持続可能な取組にするために、コミュニティをつくり、伝統工芸の担い手が市街地に住むことで発信力を上げられると考えました。
- ・日常的に帖佐人形絵付や龍門司焼等の伝統工芸を体験・見学可能にし、普段の生活の中で伝統工芸に触れる機会を増やしたいと考えました。
- ・太鼓踊りの道具の修繕・管理や、太鼓踊りを体験できる機会を通して多世代や外国人を含めた様々な人との交流を可能にします。
- ・自転車専用レーンやヘルメット収納付の休憩・駐輪場の設置、自転車整備をしてくれる人が住む家を提案します。整備の間は学生が自習もできるカフェに滞在し、コミュニティ参加のきっかけにもなります。



湯元市長

駅前を職人が集まる通りにしたいという発想は、さすが加治木工業生の皆さんだと思いました。

自転車専用レーンの提案がありましたが、始良市でもサイクルツーリズムの推進について国と一緒に進めているところです。

また、自転車整備好きの住む家では、高齢者の職人が整備するイラストがありましたが、職人然とした人だけではなく、高校生やOBの若い人達が自転車を整備すると、また違う雰囲気になるのかなと思いました。



石田尾教授

その地域に行かなければ体験できない、地域の文化資源である伝統工芸の帖佐人形、龍門司焼、太鼓踊りの見せ場を駅前で創出することで情報発信ができて、もっと掘り下げてみようと思う人達が帖佐駅から先の地域まで訪れてくれるのではないかと色々想像させてくれる提案だったと思います。

蒲生高等学校『Aira kajiki kamou ふれあいの街』

- ・文化体験施設を作り、駅を訪れる色々な人に始良市の文化・魅力を知ってもらう機会にしたいと思います。
- ・世代を超えたつながりを創出できる子ども食堂を作り、また、犬・猫などの動物を保護できる動物カフェを作りたいと思います。
- ・帖佐駅からイオンタウンまでのシャトルバスや駐車場の整備、停留所に屋根をつけ、バスの本数を増やすこと、また、まちのシンボルとなるモニュメントを設置したり、子ども達とゆっくり過ごせるような広場の整備を提案します。
- ・高校生実行委員会を運営する場所を確保し、持ち回りイベントの開催や、勉強できる場所として活用したいと思います。
- ・体育館を設置し、誰でも運動しやすい環境を整備したいと思います。
- ・駅に観光案内所を設置し、高校生が始良市の魅力を発信することを提案します。



湯元市長

使う人が変わっていくのが駅だと思うので、駅前のまちづくりにゴールはないと思っています。その中でも、高校生実行委員会に期待したいと思います。月に1回高校生が集まって、その時の高校生が駅前を盛り上げるアイデアを出し合い、運営までしてもらえると非常に心強いと思います。帖佐駅がいつも新しいことをやっているということにもつながる、非常にいい提案だと思います。



石田尾教授

若い世代の情報発信の1つの手段として、実行委員会が定期的に情報を発信する場を作っていくのは、とても大事な提案ではないかと思います。